

アルミ溶射添板を用いた高力ボルト摩擦接合部のすべり挙動に関する研究

東, 清三郎

<https://doi.org/10.15017/1807136>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 論文博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	東 清 三 郎		
論文名	アルミ溶射添板を用いた高力ボルト摩擦接合部のすべり挙動に関する研究		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 河野昭彦
	副 査	九州大学	准教授 松尾真太郎
	副 査	九州大学	教授 神野達夫

論文審査の結果の要旨

本論文は、アルミ溶射添板を用いた高すべり係数の高力ボルト摩擦接合を対象として、緻密な実験に理論的考察を加え、同工法の高すべり係数の発現の機構を解明し、平均摩擦係数と平均接触圧の関係およびボルト張力低減率と平均接触圧の関係を導出して、同工法のすべり係数の定量的評価法を開発することにより、従来の高すべり係数の接合部仕様の範囲を大幅に拡大したもので、建築構造学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。